

Rabobank Hockey World Cup 2014

日付	2014年6月2日 10:30~12:00		
場所	オランダ/ハーグ	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	日本 2敗

Country	RESULT	Country
日本	Full Time 2 - 3	オーストラリア
JAPAN	Half Time 1 - 1	AUSTRALIA

Start	No.	Name	Card
47	1	大家 涼子(GK)	
✓	2	坂井 志帆	
✓	3	眞鍋 敬子	
7	4	野村 香奈	
✓	5	中川未由希(C)	
18	6	大田 昭子	
✓	7	大塚 志穂	
✓	8	小野 真由美	
✓	9	及川 栞	
8	10	新井麻月	
✓	11	柴田 あかね	
✓	15	西村 綾加	
✓	16	永井 友理	
16	17	永井 葉月	
✓	18	吉川 由華(GK)	
✓	20	笠原 佳乃	
12	22	湯田 葉月	
41	23	金藤 祥子	
監督	柳 承辰		
UMPIRE	BRUNEKREEF CAROLINE(NED)		

Start	No.	Name	Card
4	2	NANSCAWEN GEORGIA	
✓	4	EASTHAM CASEY	
✓	5	WELLS ASHLEE(GK)	
4	6	JOHNSON KIRSTIN	
✓	7	KENNY JODIE	
✓	8	NELSON ASHLEIGH	
✓	9	FLANAGAN ANNA	
✓	11	MCMAHON KARRIE	
	12	BLYTH MADONNA(C)	
✓	13	BONE EDWINA	
✓	16	WHITE KELLIE	
3	17	HURTZ EMILIY	
✓	18	CLAXTON JANE	
✓	19	PARKER GEORGIE	
3	21	TAYLOR JAYDE	
3	22	JENNER KATE	
✓	26	SMITH EMILY	
	27	LYNCH RACHAEL(GK)	
監督	COMMENS ADAM		
UMPIRE	BLOCK FRANCES(ENG)		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	20	永井 友理	FG	1-0
AUS	35	FLANAGAN ANNA	PC	1-1
AUS	41	SMITH EMILY	FG	1-2
AUS	45	FLANAGAN ANNA	PC	1-3
JPN	58	坂井 志帆	PS	2-3

Country	Min	Name	Action	Score

ワールドカップ2014の第2戦目は世界ランキング4位のオーストラリアとの対戦である。
 (前半)
 オーストラリアのセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりはオーストラリアの激しいプレッシャーになかなかペースをつかめない日本は自陣でのプレー時間が長くなり、相手にシュートの場面を作られてしまうが、23M内での守備を集中しピンチを切り抜ける。その後、MF中川を中心に西村、永井(葉)にライトサイドでショートパスを繋げ、相手陣内へと攻撃を仕掛ける。20分、日本のアウトレットからチャンスが生まれる。大田からの縦へのロングボールが前線でリードしていた柴田へと繋がる。相手の激しいタックルをかわし、右からオーバーラップしてきた永井(友)にパスし、サークルインと同時にヒットシュート。それが見事決まり、日本が待望の先制点を上げる。その後、両者中盤での攻防が続く。前半を1-0で折り返すと思われた34分、日本は自陣のアウトレットから味方にパスを繋げられず、オーストラリアにPCのチャンスを与えてしまう。FLANAGAN ANNAにドラッグシュートを右下に決められ、同点となって前半戦が終了した。
 (後半)
 同点で向かえた後半戦、日本は高い位置から積極的にプレスをしかけ、相手にプレッシャーを与える。しかし、41分、コートを広く使う相手に対し守備対応が遅れ、低空パスがゴール前へ通り、走り込んできたEmily Smithにタッチシュートを決められ、勝ち越しを許す。そして、その4分後にはオーストラリアにPCを与え、またもやFLANAGAN ANNAにドラッグシュートを決められてしまう。早い時間に2点目を追いつく戦術にでた日本は、マークを徹底し、56分、ハイプレスからボールを奪い、23Mセンター付近から野村が新井にパスを繋げると、落ち着いて相手のフットを狙い、PCを獲得。坂井のドラッグシュートはGKに弾かれるものの新井がリバウンドに素早く反応し、反則を取ってPSを獲得する。坂井が左下に決め、2-3とする。その後、日本は64、65、68分と立て続けにPCを取られるが、日本DF陣の体を張ったプレーで得点を与えない。日本はFW2名を高い位置に残し、最後まで得点チャンスを狙い、攻撃を仕掛けようとするが、2-3で試合は終了。2戦目も日本は黒星となった。

日本	1/3	シュート数	1/7	オーストラリア
	1/1	PC数	2/5	